

平成 24 年 7 月 18 日

各 位

一般社団法人コラボ産学官  
〒134-0091  
東京都江戸川区船堀 3-5-24  
朝日信用金庫船堀センター 5F  
コラボ産学官プラザ in TOKYO 5 階  
Tel : 03-5696-9425  
Fax : 03-3877-1207

## 独立行政法人 国立高等専門学校機構との連携・協力協定締結について

一般社団法人コラボ産学官（以下「コラボ産学官」という。代表理事 小島 陽）は、新しい事業の一環として、平成 24 年 7 月 26 日（木）に独立行政法人 国立高等専門学校機構（以下「高専機構」理事長 小畑 秀文）との連携・協力協定を締結致します。

この度の連携・協力協定締結の意義は、広域にわたる地方大学の連携と信用金庫との連携により産学官連携を促進し中小企業支援、地域振興を進めてきたコラボ産学官と、教育機関としての高専機構が全国レベルで連携することにより、中小企業への更なる支援と地域振興に新たな道を開こうとするところにあります。

地域の理系人材の育成を担ってきた高等専門学校と地域密着型金融機関としての信用金庫が連携することにより、地域産業の活性化に関する活動が更に強化されることが期待されています。

協定締結式では、高専機構小畑理事長、コラボ産学官小島代表理事挨拶、並びに高専機構五十嵐理事、コラボ産学官江原事務局長によるこの度の協定締結の意義について概要説明が行われたのち、理事長・代表理事による協定書署名が行われます。

この協定の主な内容は、1. 共同研究の促進、2. 人材育成・産学共同教育の相互支援、3. 産学官連携及び知的財産推進、4. その他密接な連携・協力を推進するため連携推進協議会の設置等であり、協定期間は平成 26 年 3 月 31 日までとしています。（双方合意の上で更新可能）

今後専門的な知識や技術を必要とする地域の中小企業と研究成果を産業に活かそうとする大学・高専との橋渡しがより円滑になり、公共団体・経済団体による支援や全国に及ぶネットワークを活用することで、これまで以上に強く産学官連携を後押しすることができるものと思われます。当日は協定締結後、この度の協力協定締結の意義について記者会見の場を別紙の通り設けることになりましたので、報道機関の皆様にご出席いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

➤高専機構とは

(独)国立高等専門学校機構は、平成16年4月に発足し、全国に51校55キャンパスの国立高等専門学校(以下「高専」という。)を有しています。産学官連携の基本指針として、高専の教育水準の維持・向上に努めると共に、高専が持つ知的財産を積極的に社会に還元し、学生も参画した共同研究やインターンシップ等の産学共同教育も推進しています。なお、高専は産業界からの強い要望に応えるため、実践的技術者を養成する高等教育機関として、昭和36年に創設され、今年が高専制度創設50周年の節目の年であり、「進化する高専」を標榜しています。

➤コラボ産学官とは

「コラボ産学官」とは、中小企業の育成と地域経済の活性化を目指し、2004年4月に設立した産学官+「金融機関」の連携活動組織です。専門的な知識・技術を必要とする中小企業と、大学の持っている知財・人材、国・地公体の支援体制、信用金庫の資金・情報力を連携させた全国横断的な産学官連携の会員組織であり、他の産学官連携組織と比べ信用金庫のネットワークを活用することと信用金庫が中心となって組成した「コラボ産学官ファンド」(25億6千万円)が特徴となっています。

<独立行政法人 国立高等専門学校機構・一般社団法人コラボ産学官 連携・協力協定締結式>

■日時：平成24年7月26日(木) PM2:00~PM4:00

■場所：コラボ産学官プラザ in Tokyo 6階会議室

■出席者：

【国立高等専門学校機構】小畑 秀文 理事長  
五十嵐一男 理事  
他

【コラボ産学官】小島 陽 一般社団法人コラボ産学官  
代表理事兼本部理事長  
江原 秀敏 一般社団法人コラボ産学官 本部事務局長  
丹治 規行 一般社団法人コラボ産学官常任理事  
株式会社コラボ産学官 代表取締役

■次第

1. 主催者挨拶

(独)国立高等専門学校機構 小畑 秀文 理事長  
(社)コラボ産学官 小島 陽 代表理事

2. 連携・協力に関する概要説明

(独)国立高等専門学校機構 五十嵐一男 理事  
(社)コラボ産学官事務局長 江原 秀敏 事務局長

3. 締結式

※終了後、記者会見を予定